

第102期 中間株主通信

平成26年1月1日から平成26年6月30日まで



東亜合成株式会社

- 01 株主の皆様へ
- 03 セグメント別概況
- 05 特集：進化を続けるロングセラー「アロンアルファ®」
- 09 トピックス





創立70周年を迎え、事業体質の一層の強化を図っていくため、既存事業の「強靱化」と新規事業の「創造」を推し進めていきます。

代表取締役社長 橋本 太

Q. 当第2四半期連結累計期間の概況についてお聞かせください。

A. 当第2四半期連結累計期間(平成26年1月1日から平成26年6月30日まで)におけるわが国経済は、消費税率引き上げ前の駆け込み需要により期前半の個人消費、住宅投資が増加したものの、その後の反動減による落ち込みや、堅調な設備投資にも減速の兆しが見られるなど、先行き不透明感が高まる中で推移しました。また、外需は、雇用改善が続く米国経済の回復が期待されるものの、中国をはじめとする新興国経済の成長ペースが鈍化するなど、力強いけん引役が不在のままに推移しました。

当社グループを取り巻く事業環境につきましては、円安・原油高を受けた原燃料価格の上昇に加え、需給のアンバランスにより全般的に製品価格の是正が遅れ、収益が圧迫される厳しい事業環境のうちに推移しました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は749億5千4百万円(前年同期比1.8%増収)、営業利益は60億8千8百万円(前年同期比17.9%減益)、経常利益は64億1千万円(前年同期比19.6%減益)、四半期純利益は42億5千3百万円(前年同期比16.8%減益)となりました。

ポイント

- 原燃料価格の上昇により収益が圧迫され、前年同期比で増収減益に
- 中間配当金は1円の記念配当を加えた1株当たり6円を実施
- 期末配当でも1円の記念配当を実施し、年間配当金は前期比2円増配の1株当たり12円を計画

Q. 通期の見通しについてお聞かせください。

A. 今後の見通しにつきましては、消費税率引き上げに伴う景気の一時的な落ち込みが一段落し、需要が緩やかな回復に向かう一方、電力、ナフサをはじめとする原燃料価格は高止まりすることが予想されます。このような中、当社グループは、まずは原燃料価格の上昇に対応した製品価格の是正を急務の課題とし、損益の改善を図っていくとともに、「中計ALL TOA 2016 “強靱化そして創造へ”」に掲げるアクションプラン

を着実に実行し、既存事業の「強靱化」と新規事業の「創造」を通じた収益の確保に努めてまいります。

平成26年12月期通期の業績につきましては、売上高は1,540億円(前期比1.9%増収)、営業利益は140億円(前期比3.5%減益)、経常利益は144億円(前期比6.2%減益)、当期純利益は94億円(前期比2.1%減益)を予想しております。

Q. 株主の皆様へメッセージをお願いします。

A. 当社は、平成26年7月17日をもちまして、創立70周年を迎えました。これもひとえに株主の皆様のご支援、ご協力の賜物と心より感謝申し上げます。

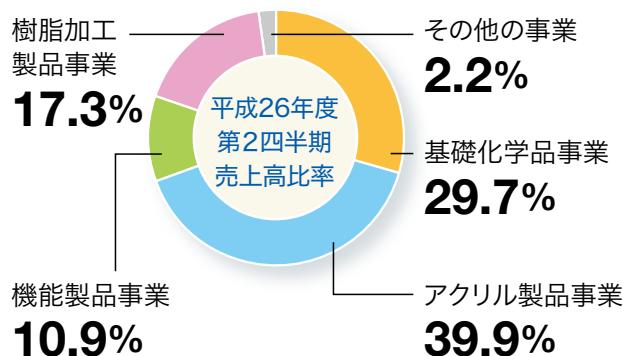
利益配分につきましては、当期の業績、今後の事業展開等を総合的に勘案し、株主の皆様への安定的な利益還元に努めることを基本方針としています。平成26年12月期通期の業績見通しは、前期比で減益を見込むものの、内部留保資金や今後の事業展開等を総合的に勘案し、株主の皆様の日頃のご支援にお応えするため、第2四半期末配当(中間配当)において、1株につき

1円の記念配当を実施することといたしました。これにより、第2四半期末配当(中間配当)は、5円の普通配当と合わせて1株当たり6円となります。

また、期末配当につきましても、5円の普通配当に1円の記念配当を加えた1株当たり6円とし、年間配当金は1株当たり12円とすることを計画しています。

株主の皆様におかれましては、今後とも引き続き変わらぬご支援、ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

セグメント別売上高比率



セグメント別売上高・営業利益

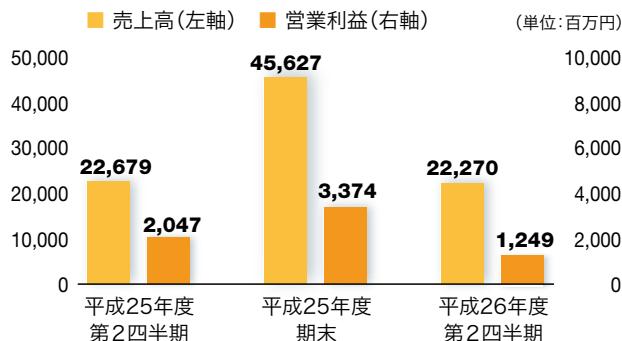
(平成26年度第2四半期)

(百万円)

	売上高	営業利益
基礎化学品事業	22,270	1,249
アクリル製品事業	29,910	2,351
機能製品事業	8,202	1,802
樹脂加工製品事業	12,956	665
その他の事業	1,615	△ 18

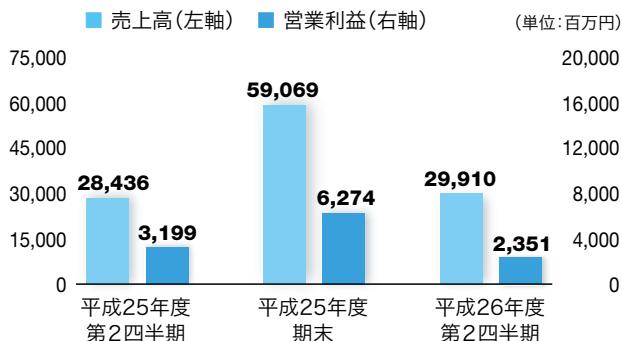
基礎化学品事業

苛性ソーダおよび無機塩化物は、製品価格の是正が遅れたとともに、販売数量が減少し、低調に推移しました。無機高純度品は、主力の半導体向けを中心に販売数量が増加し、堅調に推移しました。硫酸および工業用ガスは、全般的に需要が底堅く、前年同期並みで推移しました。



アクリル製品事業

アクリル酸およびアクリル酸エステル、ならびにアクリル系ポリマーは、国内向けを中心に底堅い需要に支えられ、販売数量は堅調に推移しました。高分子凝集剤は、競争の激化により販売数量が減少し、低調に推移しました。光硬化型樹脂は、全般的な需要の低迷を受けて販売数量が減少し、低調に推移しました。



セグメント別主要製品

● 基礎化学品事業

苛性ソーダ、苛性カリ、液体塩素・塩酸などの無機塩化物、無機高純度品、硫酸、工業用ガス等

● アクリル製品事業

アクリル酸、アクリル酸エステル、アクリル系ポリマー、高分子凝集剤、光硬化型樹脂等

● 機能製品事業

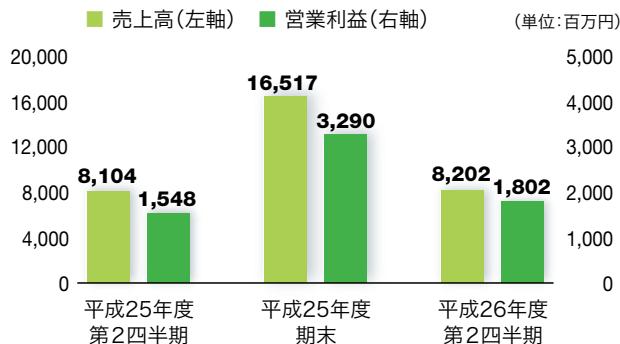
接着剤、建築・土木製品、無機機能材料、エレクトロニクス材料等

● 樹脂加工製品事業

管工機材製品、ライフサポート製品、エラストマーコンパウンド

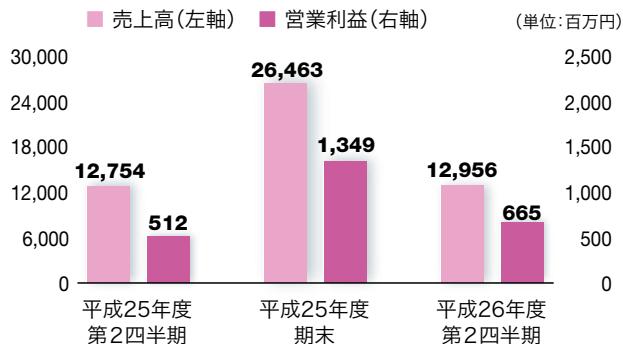
機能製品事業

接着剤は、一般用瞬間接着剤の販売数量が増加したとともに、工業用も携帯端末向けを中心とした機能性接着剤の需要が底堅く、順調に推移しました。建築・土木製品は、建築補修材の需要が堅調だったものの、地盤改良剤の需要が落ち込み、前年同期並みで推移しました。無機機能材料は、銀系無機抗菌剤の販売数量が減少し、低調に推移しました。エレクトロニクス材料は、一般的に販売数量が低迷し、低調に推移しました。



樹脂加工製品事業

管工機材製品は、消費税増税前の駆け込み需要等により期前半に販売数量が増加し、堅調に推移しました。ライフサポート製品は、日用品分野の不採算品見直しにより販売数量が減少し、低調に推移しました。エラストマーコンパウンドは、需要が減少し、低調に推移しました。



特集：進化を続けるロングセラー「アロンアルファ®」

このたび当社は瞬間接着剤アロンアルファ®の新製品カラーチェンジを発売しました。
今回は当社グループの瞬間接着剤事業の特徴や強みをご紹介します。

豊富な品揃え「アロンアルファ®」全58製品

お客様の幅広いニーズにお応えするため、半世紀以上にわたり、さまざまな種類の製品を開発し、品ぞろえを拡充してきました。



No.1 ブランドを支える技術の3要素

合成反応の工程を精密に管理
高純度・高品質の製品を
安定的に生産

合成技術

主原料と添加剤の配合
ノウハウの蓄積
速効性、耐衝撃など、
より高い機能の実現

配合技術

分析・評価

継続的な新製品の
上市を可能に



純度、化学構造、
反応工程などを
多角的に分析
継続的な品質改善を
支えるベース





現地ニーズに対応した製品開発を通じ、
グローバル展開を推進

● 「カラーチェンジ」発売



「カラーチェンジ」の特長

- 塗りやすい
色つきのため、塗ったところがわかりやすく、塗りすぎや塗り忘れがありません。
- 固まると透明に変化
接着箇所が目立ちにくくなります。

「紫色」から「透明」に色が変わる
「カラーチェンジ」発売

2002年、当社は世界で初めて「固まった後に有色の液体が透明になる瞬間接着剤」を開発、米国で発売しました。「Color Change」と名付けられたこの製品は、現地のお客様の声を生かして開発された製品で、上市から10年以上経った現在も幅広く支持されています。

今回、米国で高い評価を受けている「Color Change」の商品名を「カラーチェンジ」とし、日本でも販売を開始しました。今後もトップメーカーの独自の技術力で、さまざまなニーズに合った高機能・高品質な「アロンアルファ®」の開発を進めてまいります。

連結財務諸表（要旨）

貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度末 (平成25年12月31日)	当第2四半期 連結会計期間末 (平成26年6月30日)	増減額
流動資産	101,774	101,830	55
固定資産	91,311	95,662	4,350
① 資産合計	193,086	197,492	4,406
流動負債	34,327	36,009	1,681
固定負債	10,610	10,919	308
負債合計	44,938	46,928	1,990
純資産	148,148	150,564	2,415
負債純資産合計	193,086	197,492	4,406

POINT ①

資産合計は、設備投資により「有形固定資産」などが増加したため、前連結会計年度末に比べ44億6百万円、2.3%増加し、1,974億9千2百万円となりました。

POINT ②

円安・原油高を受けた原燃料価格の上昇により、収益が圧迫され、営業利益は前年同期に比べ13億2千5百万円、17.9%減少し、60億8千8百万円となりました。

損益計算書

（単位：百万円）

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年6月30日)	増減額
売上高	73,643	74,954	1,311
売上総利益	19,670	18,045	△ 1,625
販売費及び一般管理費	12,256	11,956	△ 300
② 営業利益	7,413	6,088	△ 1,325
経常利益	7,968	6,410	△ 1,558
特別損益	140	△ 131	△ 272
四半期純利益	5,115	4,253	△ 861

POINT ③

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得などによる支出が増加しましたため、前年同期に比べ支出が61億6千3百万円増加し、96億7千5百万円の支出となりました。

キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

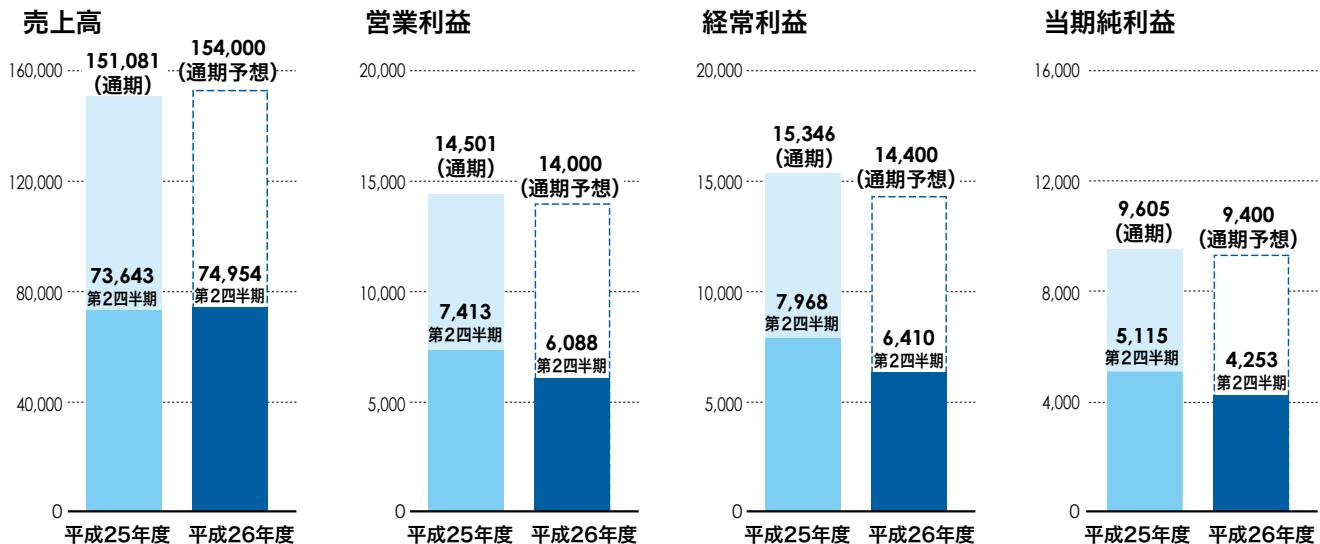
	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年6月30日)
③ 営業活動によるキャッシュ・フロー	10,536	10,448
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 3,511	△ 9,675
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 601	△ 1,576
現金及び現金同等物の四半期末残高	36,647	38,726

▶ 配当について

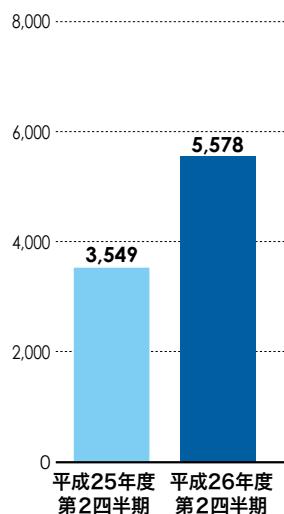
創立70周年を迎え、日頃のご支援にお応えするため、当第2四半期の配当金は1株当たり1円の記念配当を加えた6円といたします。期末配当でも1円の記念配当を実施し、年間配当金は12円(記念配当2円)を予定しています。

平成26年度第2四半期

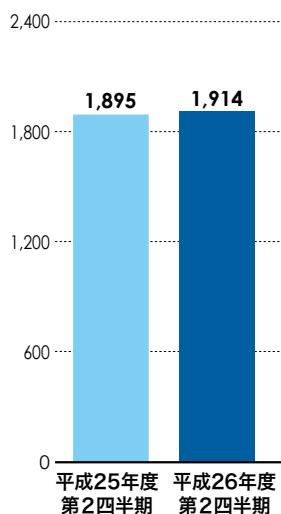
(単位:百万円)



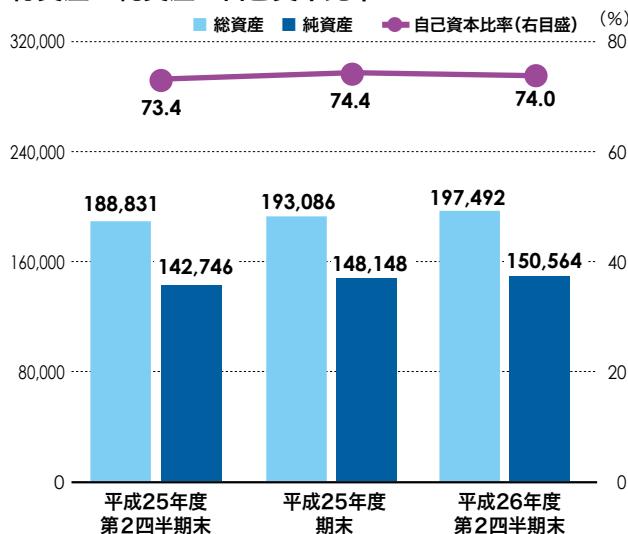
設備投資額



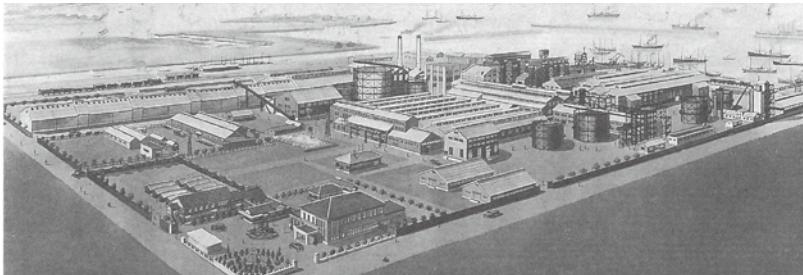
研究開発費



総資産・純資産・自己資本比率



東亜合成株式会社 創立70周年



当社の母体である矢作工業(株)全景(当時)



合併4社の融和を象徴した創立当時の社章

昭和19年(1944年)7月17日、当社の母体である矢作工業株式会社は、臨時株主総会において、昭和曹達(株)、レーヨン曹達(株)、北海曹達(株)のソーダ三社を吸収合併し、社名を東亜合成化学工業株式会社に改める決議をしました。この創立の日から70年、当社は産業や暮らしを支えるさまざまな製品を供給し続け、日本の社会とともに成長してきました。

今後も株主の皆様のご期待にお応えできるよう、継続的な企業価値の向上に努めてまいります。

ホームページリニューアル URL:<http://www.toagosei.co.jp/>

4月にホームページを
全面リニューアルしました。

トップページ



個人投資家の皆様に向けた情報が充実しています。
会社紹介映像も併せてぜひご覧ください。

個人投資家向けページ



東亜合成の強み



会社紹介映像

会社概要

本店所在地/〒105-8419 東京都港区西新橋一丁目14番1号

電話 (03)3597-7215(代表)

設立/昭和17年3月31日

資本金/20,886百万円

従業員/連結2,478名

単独1,228名

取締役および監査役

代表取締役会長	山寺	炳彦
代表取締役社長	橋本	太
取締役	山田	勝敏
取締役	野村	聡一
取締役	小関	健
取締役	高村	美己志
取締役	中川	和明
取締役	杉浦	伸一
取締役	石川	延宏
取締役(社外)	滝澤	英一
監査役(常勤)	佐藤	邦雄
監査役(社外)	佐藤	勝
監査役(社外)	三浦	良二
監査役(社外)	原	一夫

株式の状況

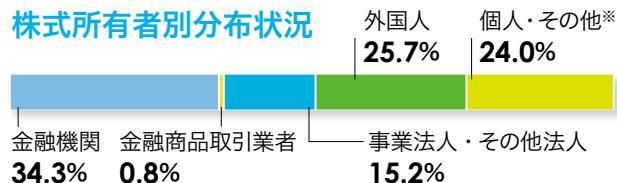
発行可能株式総数	550,000,000株
発行済株式総数	263,992,598株
株主数	21,578名

大株主の状況

株主名	株数(千株)	出資比率(%)
株式会社三井住友銀行	11,636	4.42
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	11,491	4.36
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	8,770	3.33
東亜合成取引先持株会	7,777	2.95
東亜合成グループ社員持株会	6,067	2.30
株式会社三菱東京UFJ銀行	5,648	2.14
ゴールドマンサックスインターナショナル	4,166	1.58
ザバンク オブ ニューヨーク メロン エスエーエヌブイ 10	4,086	1.55
農林中央金庫	3,944	1.50
三井生命保険株式会社	3,691	1.40

出資比率は、自己株式(558,114株)を控除して計算しております。

株式所有者別分布状況



※「個人・その他」には自己株式が含まれております。

東亜合成グループの主な関係会社

セグメント別	主な関係会社
基礎化学品事業	東亜テクノガス(株)、東亜合成KOREA(株)
アクリル製品事業	大分ケミカル(株)、トウアゴウセイ・シンガポール・ピーティーイー・リミテッド、台湾東亜合成股份有限公司、東昌化学股份有限公司、張家港東亜愛生化学有限公司、MTアクアポリマー(株)
機能製品事業	トウアゴウセイ・アメリカ・インク、東亜合成香港有限公司、東亜合成(珠海)有限公司、アロン包装(株)、エルマーズ・アンド・トウアゴウセイ・カンパニー、東亜建築(株)、MTエチレンカーボネート(株)
樹脂加工製品事業	アロン化成(株)、ミクニプラスチック(株)
その他の事業	(株)TGコーポレーション、TOAエンジニアリング(株)、東亜ビジネスアソシエ(株)、東亜興業(株)、東亜物流(株)、北陸東亜物流(株)、四国東亜物流(株)



アンケートにご協力ください

抽選で「アロンアルファ カラーチェンジ」と「はがし隊」をプレゼント!!



アンケートサイト(画面)への接続方法

Yahoo!やGoogleなどからアンケートサイトを呼び出してください。

株主ひろば 検索 URL <http://kabuhiro.jp>

株主アンケート

アンケート実施期間 **平成26年9月30日まで**

当社では、株主の皆様への情報開示の充実に努め、当社の経営をより一層ご理解いただけるIR活動を行っていきたくと考えています。つきましては、ご多忙のところ誠に恐縮ではございますが、右記アンケートサイトにアクセスしていただき、アンケートにご協力いただけますようお願い申し上げます。

なお、ご回答いただきました内容は統計資料としてのみ使用させていただきます、事前の承諾なしにこれ以外の目的には使用いたしません。

このアンケートは、諸費用(郵便料金など)の削減と集計作業の迅速化を目的として、株式会社アイ・アール ジャパン(IR支援会社)が運営するWebアンケートシステム「株主ひろば」を利用して実施しています。



【ご回答の操作方法等のお問い合わせ先】

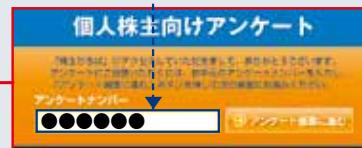
株式会社アイ・アール ジャパン
株主ひろば事務局 E-mail: inquiry@kabuhiro.jp

ご回答方法

アンケートサイト (<http://kabuhiro.jp>) 画面中央の入力ボックスに、アンケートナンバーを入力して回答画面にお進みください。



アンケート
ナンバー
t70acc



株主メモ

- 事業年度…………… 毎年1月1日から12月31日まで
- 定時株主総会…………… 毎年3月に開催
- 基準日…………… 定時株主総会・期末配当 毎年12月31日
中間配当 毎年 6月30日
- 公告の方法…………… 電子公告の方法により行います。
ただし、電子公告によることができない事故
その他のやむを得ない事由が生じたときは、
日本経済新聞(東京)に掲載します。
公告掲載URL (<http://www.toagosei.co.jp/>)
- 株主名簿管理人…………… 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社
- 特別口座の
口座管理機関…………… 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社
- 郵便物送付先…………… 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先) **0120-782-031** (フリーダイヤル)
取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の本店
および全国各支店で行っております。

ご案内

住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申し出先について

株主様の口座のある証券会社にお申し出ください。
なお、証券会社等に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。

各種手続用紙のご請求について(特別口座の株主様)

以下の手続用紙のご請求については、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社のインターネットで24時間お受けしております。

■ ホームページアドレス

<http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html>

- ・ 口座振替申請書 ・ 単元未満株式買取請求書
- ・ 配当金振込指定書(特別口座用) ・ 変更届(住所・氏名・届出印等)

未払配当金のお支払いについて

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。

「配当金計算書」について

配当金のお支払いの際に送付している「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねており、確定申告を行う際の添付資料としてご使用いただくことができます。確定申告を行われる株主様は、大切に保管してください。